

みちぶしん “道普請”

土木
未来

自分達の道は自分達で守る！（協働による環境整備）

安全・快適な道路環境を整備するため、地域の皆さま主体により、県道の支障木伐採作業が行われました。

町広報紙で紹介された下恵良九重線と菅原戸畑線の取組みを見た古後地区道路期成会から提案で実施、道路保全に対する地域住民の積極性を感じました。

実施日：平成23年12月10日（土） 8:00～16:00

実施場所：県道玖珠山国線 玖珠町大字古後 立羽田の景付近



着手前(9月の様子)



期成会と現地調査を行って、問題箇所を相互確認

玖珠山国線は玖珠郡玖珠町と中津市山国町を結ぶ主要地方道であり、沿線には国指定名勝耶馬溪の代表的景観「立羽田の景」が存在するなど、地域住民の日常生活から県内外の観光客の往来に至るまで様々な交通需要に供されています。しかしながら、線形不良や幅員狭小といった未改良区間が多く存在し、観光客や路線バスの通行に支障をきたしています。対策としては、交通の障害となり凍結の原因でもある支障木の伐採が有効です。

古後地区道路期成会から、「道路改良要望活動だけでなく自分達で出来ることは取り組みたい。」と提案があり、樹木所有者との調整と伐採を期成会、交通誘導は土木事務所の役割分担で実施しました。

作業状況



【作業前ミーティング】
雪が舞う氷点下の朝、
チェーンソー持参で集合。
高齢の方も居るはず
ですが皆さん現役の
万全装備です。

林業に携わっている方が多く、手際良く作業が進みました。伐採木はメンバーの軽トラに積込み搬出。道路幅員が狭いので軽トラが大活躍。

土木事務所は
交通誘導員



作業後の状況



「立羽田の景」(写真奥)が、
良く見えるようになりました。



路肩の雑木が一掃
→大型車との離合が容易に

極寒の中、お疲れ様でした！
“道普請”を引き続きお願いします！